

つきのかわがわ
調川川を美しくする会

代 表
柴田 則 史 さん



長崎県北部に位置する松浦市。自然豊かなこの地に流れる二級河川調川川を守るため、松浦市調川町の住民を中心として発足した「調川川を美しくする会」の皆さんが清掃活動を行っています。「主な活動は調川川周辺の草刈りやゴミ拾い。今は川岸にヒマワリや水仙も植えて、花を眺めながらの散歩コースとして利用してもらっています」と代表の柴田則史さん。平成10年の設立以来、河川愛護、環境美化活動に尽力したことが認められ、日本河川協会による平成23年河川功労者として表彰されました。

春の終わりには蛍が舞う調川川ですが、以前は泥水のような濁った川だったというから驚きです。「かつて炭鉱がそばにあった時代には、掘り起こした石炭を洗った水や生活排水がそのまま流れていました。濁った川は、下水の完備や清掃活動などでここまで美しくなりました。遊歩道のそばは

蛍が舞う川のために
日々楽しく清掃活動しています

草刈りをしますが、山手は蛍が生息しているため草刈りをしません。草を刈るともっと蛍が見やすいのですが、それは人間側の理由。蛍が生きやすいように草は伸ばしたままにしています」とのこと。

活動は定期的というより自発的に集まることが多いのがこの会の特徴。「この前も『明日、調川の清掃をするから一緒に来ない?』と若者を誘って一緒にやりました。私たちが草刈りをしていると、近くを通りかかったメンバーが片付けをやりだす。自ら動いて清掃する、それが私達の活動です」。清掃活動日に予定があれば欠席する、体調が悪いときは遠慮なく休む。たまには旅行など親睦会もしながら楽しく活動する。今後も会のメンバーだからと押し付けられてする活動ではなく、あくまでも自主的に取り組みながら、清掃活動を続けていきたい。」と活動継続の秘訣と今後の方針について話してくださいました。

